

シンクロナイズド・ソリューション



JABIL

ジェイビル2006年度報告書

内容

株主の皆様へ.....	8
財務ハイライト	10
役員	12
企業統治および 財務責任について	13
財務責任について	13
10-K様式による年度報告	
事業について	4
財務表の抜粋	39
財務状況と業績結果の=解説と分析	44
財務報告書に関する 内部統制についての報告	98
独立会計事務所による報告	99
連結貸借対照表	102
連結損益財務書	103
連結自己資本	105
連結キャッシュフロー	106
連結財務報告書について	107

本年度財務報告書には将来の見通し（フォワード・ルッキング・ステートメント）についての記述がなされています（米国連邦証券取引法に定義される範疇によります）これについて詳しくは10-K様式のパート1、1項を参照してください。



ジェイビル ミッション： 世界規模で問題の解決をはかり 最高度の業績を上げる

ジェイビルとお客様の関係は、製品の全ライフサイクルにわたった長期的なパートナーシップであると言えます。ジェイビルは最初から最後までエクセレンスを目指します—デザイン段階から生産、組立、修理や保障などのアフターサービスマーケットを含む幅広い分野にわたります。強力なサプライ・チェーンのシステムと最先端の情報インフラにより、ジェイビルの活動は世界規模で1日24時間・1週間7日間続きます。現代のパートナーシップというものは情報のやり取りが主となっており、ジェイビルとお客様を複雑に結び付けています。パートナーシップが成功するためには相互の信頼と協力が欠かせません。

ジェイビルの特異な生産モデルの中でも中核になるのは専門ビジネス・ユニットです。このモデルでは特定のお客様に責任を持って専門であたる人材をあてます；対応がよく、規模に応じて柔軟に対処します；そして世界規模で、歩調をあわせて製品の問題解決を図るのです。このようにしてジェイビルは、お客様にとって個々の製品に合致し、特定のニーズにあった最も良い解決策を提供するのです。

ジェイビルの専門ビジネス・ユニット・モデルが明確で、よく機能した結果、ジェイビルのここ10年の業績は株式公開された会社のなかでも、最も成功した部類だといえます。過去12年間にわたり売り上げ（CAGR）、利益、EPSは年率で30%成長してきました。2007年のフォーチュン500リストに入っている会社の中でたった4社が同じ時期において売り上げ(CAGR)、利益、EPSなどで年率で30%以上の成長をしているのです。

最高度の業績を維持し将来の財務目標やその他の指標の目標を達成するために、ジェイビルはその中核となる戦略を維持します；利益ある成長にしっかり焦点を当て、ジェイビルのビジネス・ユニット・モデルを適用していろいろな分野に手を広げ、また個々のお客様に適したサプライ・チェーンを開発してゆくことによって達成します。わが社の財務目標は売り上げの成長と営業利益や純益をバランスよく確保し、同時にフリー・キャッシュ・フローを出してゆくことにあります。それと同時にグローバル・マーケットのために、柔軟で適応性のあるモデルを維持してゆきます。

A photograph of two men in a factory setting. The man in the foreground is wearing a blue checkered shirt and white gloves, looking intently at a piece of machinery. The man behind him is wearing a yellow shirt and a blue jacket, also looking at the machinery. The background shows industrial equipment and a factory floor.

お客様の声

「わが社のビジネスはジェイビルとパートナーを組んだおかげでとても効率が上がりました。ジェイビルの製造に関する専門知識や世界規模の購買力、部品の価格、技術開発のロードマップなどを活用することができたのです。小さな請負製造業者からジェイビルに替えたおかげで、より良い会社となることが出来たのです。これが、ジェイビルの真価のひとつだと思います」

「さらにジェイビルの価値は、問題に即応する能力であり、これは組織全体についてそういえません。ジェイビルの持つ知識や専門性は本物だと思います」

ジェイビルの戦略上の優位性 多角化による成長

過去10年にわたるジェイビルの成長と多角化は、企業が生産のプロセスを、ジェイビルのようなサービス・プロバイダーにアウトソースするという強い傾向がひとつの要因だといえます。長年にわたっていろいろな分野の電子製品の企業は生産のアウトソーシングを検証し、拡張、全面的に採用してきたのです。

多角化することにより成長する、ということがジェイビルの成功を導いたともいえます。30年にわたり、ジェイビルは主として企業がアウトソーシング戦略を採用したことによって成長してきたといえます。ある場合には多角化は外部要因や、あるいはジェイビル自身の慎重に考慮された戦略的な方針によって達成されたものともいえます。多くの場合、ジェイビルは慎重に考慮した末、意図的に新しい市場に参入しました。そして有利な買収を実行しました。2002年にはジェイビルは、ロイヤル・フィリップス・エレクトロニクスの民生機器生産部門の大半を買収し、大々的に民生機器の分野に参入しました。わが社のこれまでの戦略的な行き方から外れるという見方もありましたが、ジェイビルは熟慮の末、会社にとって重要な機会を取り込むことにしたのです。いまでは民生機器はジェイビルの全事業の3分の1を占めるまでになっています。またわが社にとって最も成長の早い事業でもあるのです。

同様に、ジェイビルは2005年にバリアン社の電子生産サービス事業の買収により、急速に成長する計測器と医療機器分野の専門知識を獲得することが出来ました。ジェイビルは戦略的にこの望ましくもあり、新興である医療機器や計測機器の分野に進出し、重要な高付加価値の生産事業のリーダーとなり、年度売り上げの15%をこの分野で占めるまでになっています。

多角化はジェイビルの事業開発の中心です。アウトソースの傾向が続く間は、ジェイビルはその要求に答えるべく準備をしています。



お客様の声

「ジェイビルはわが社、あるいはわが社の製品群についてとてもよく知っているアカウント・マネージャーを任命してくれています。たった一度の電話で、わが社の（ジェイビルにおける）状況がすべて理解できるのです。これは（わが社に）焦点を当てたサービスといえるでしょう。頼りになるのです」

「ジェイビルとの成功の中心はこれまでもそうでしたし、これからもそうでしょうが、ワークセルの人たちの集中力と、継続的に提供してくれる素晴らしい顧客サービスだと思います」

「ワークセルの構造を模して、ジェイビルの人に呼応するわが社の社員を任命しました。その結果わかったことは、相手を良く知っているほうが、より良い仕事ができるということでした」

ジェイビルの戦略的優位性： 専門ビジネス・ユニット

ジェイビルが社内で開発した専門ビジネス・ユニット・モデルは特定顧客専門チームから派生し、顧客との強力な関係を育てます。それぞれのビジネス・ユニットはお客様の延長として機能し、お客様の固有の生産要求に合わせ込みます。それにはエンジニア、材料の計画担当、購買、サプライ・チェーン・マネージャーなどが関わります。ビジネス・ユニット・ディレクターを中心に、チームはその顧客の、個々の製品の生産ニーズを満たすことに全責任を持ち、同時にジェイビルの財務目標の達成をめざすのです。

1対1の密接な関係によりジェイビルとお客様は常に情報のやり取りが可能となります。これにより、ジェイビルはプロセスの継続的な改善を積極的に実施することが出来ます。このような関係の中で、ジェイビルはお客様の現状あるいは将来のニーズを満たそうと努力するのです。

急速に変化する生産の要求に対応するため、ジェイビルのビジネス・ユニットにはそれぞれの価格、拠点、ビジネス計画、投資などについて、大半の決定権限があります。顧客満足指数と利益指標がビジネス・ユニット成功の可否を決めるのです。ビジネス・ユニット・マネージャーは顧客満足とジェイビルの業績目標に責任をもっています。

お客様は常により良い製品を、より競争力のある価格で提供しようと模索しています。このような要求に合わせるために、ジェイビルのビジネス・ユニットのチームはその世界規模のサプライ・チェーンや流通、生産のエキスパートと相談して、世界規模で競争している環境下での、変化する要求に合致する生産拠点を決定するのです。

ジェイビルの専任され、責任を持たされたビジネス・ユニット・モデルによって、世界市場において欠かすことの出来ない競争力を出すことが出来るのです。



お客様の声

「生産拠点は地球の反対側にあるかもしれませんが、われわれは24時間7日間体制で仕事をしています。迅速なコミュニケーションはとても重要です。待つことは出来ないのです。われわれのお客様は明後日には製品を要求しているのです。ですから答え応答が必要で、それも迅速にしなければなりません。ジェイビルのアカウント・マネージャーはそれをしてしてくれます」

「われわれには変更が可能で機動的なサプライ・チェーンが必要です。機動的なサプライ・チェーンがあるということは、大きな変更でも可能な限りやってくれるサービス・プロバイダーを持っている、ことなのです。ジェイビルはこれに応えてくれます。」

ジェイビルの戦略的な優位性： セクター固有のソリューション

ジェイビルのサプライ・チェーン・ソリューションにより世界に広がる顧客に経済的で柔軟な代替案を提供することが出来ます。ジェイビルの仮想サプライ・チェーンのバックボーンは世界中の工場に統一して導入されているERPにより実現されています。ジェイビルのインテグレートド・オープン・アーキテクチャにより6,000のサプライヤーからの800,000を超えるSKU（在庫品）を追跡、あるいは確認ができます。これら多面的な戦略的パートナーのおかげでジェイビルは個々のお客様やビジネス・セクターに合わせ、また適切なサプライヤーをあわせて、ソリューションを用意し、それぞれの地域で最善の価値を提供することが出来るのです。

ジェイビルの多角化を成功させるためには、セクターごとの戦略やリアルタイムの情報システムと合わせ、サプライ・チェーンの簡略化を進めることが必要でした。多角化を進めると同時に成長を維持するために、ジェイビルは極端に異質な産業分野にも対応できる最先端のサプライ・チェーンを構築し続けます。今日、生産がグローバル化し低コスト地域に広がっていることから、サービスの提供は拡大し続けています

ジェイビルのサプライ・チェーンの簡略化への取り組みはセクター固有の最適化の開発と、サプライ・チェーンの重要な部分への戦略的な投資であり、それによりお客様とわが社の目標の実現を図ります。このような投資は仮想サプライ・チェーンをよりよく管理するためのスキルをもたらします：かなり簡略化された流通とリードタイムの短縮；低コストとより高品質な部品と更なる価値の提供、などです。

多数の地域にまたがった完全なサプライ・チェーン・ソリューションの導入は今日の市場で成功するための必須条件です。ジェイビルはお客様に歩調の取れたソリューションを日々24時間、世界中で提供しています。セクター固有のソリューションによって電子機器生産事業における唯一の定数である「変化」に対応しているのです。

社員の皆さん、株主の皆様、パートナーの皆様、

過去18ヶ月間はジェイビルにとって大変な期間でありました。われわれは困難な時期を経験しましたが、この成長する産業分野において引き続き繁栄できるための有意な施策も実行してきました。

2006年度ではジェイビルの売り上げ成長は引き続き好調で、103億ドルに達しました。これは2005年度に比べ36%の伸びです。全ての分野で伸びていますが特に民生機器と計測および医療機器分野が著しかったのです。この伸びは2007年度にも続いており、売り上げは62億ドルとなり2006年度の前半に比べ31%の伸びとなっています。しかしながら利益はこの成長の流れに追いつかず、財務業績には失望する結果となりました。



Timothy L. Main

2006年度ではジェイビルの売り上げ成長は引き続き好調で、103億ドルに達しました。これは2005年度に比べ36%の伸びです。全ての分野で伸びていますが特に民生機器と計測および医療機器分野が著しかったのです。この伸びは2007年度にも続いており、売り上げは62億ドルとなり2006年度の前半に比べ31%の伸びとなっています。しかしながら利益はこの成長の流れに追いつかず、財務業績には失望する結果となりました。

世界的に見ますと、生産のキャパシティを最適化し、インフラのコストを下げるように務めています。このような変化は短期的に見ますと社員の皆さんに負担をかけますが、わが社の将来を見据え、またわが社の提供する価値の競争力確保のため不可欠なのです。また、われわれ自身の設計による、いくつかの民生機器製品を将来に向けたビジネス・プランからはずしました。それはこの製品の将来性が魅力的でなくなったからです。また非常に競争の激しい民生機器の分野から手を引き、高付加価値で高利益の見込める製品やサービスの分野に集中することにしました。このような対策の結果は2007年度の後半から2008年度に現れるものと考えています。



William D. Morean

ここ1年の間、わが社の価値をさらに高めるために数々の施策を実施してきました。その中で最も重要なのは台湾のグリーン・ポイントの買収でしょう。これは2006年11月に発表され、2007年の4月に完了しました。この買収によりジェイビルは、携帯電話機器のケースや外装の飾り仕上げ、プラスチックなどに関連する重要な技術とノウハウを取り込むことが出来ました。これにより民生機器分野において垂直統合が可能となり、製品の、最初から最後までを含んだソリューションをお客様に提供できる

ようになりました。携帯電話製品のお客様はアウトソース際、技術と製品を低価格で迅速に提供できるパートナーを求めているのです。いまやジェイビルはそのような組み合わせを提供できる、数少ない会社のひとつになったといえるのです。市場がさらに拡大し、お客様も引き続き、開発から生産までをアウトソースしようとする中で、ジェイビルは将来、携帯電話の分野で、長期にわたる安定した成長が望めると考えています。

またインド地域を大きく拡大しました。インドでは収入の増加とともに電子機器に対する需要がビジネスからも消費者からも、大変旺盛になってきたのです。ジェイビルは2006年の3月にセレクトロニクスを買収し、チェンナイの新興電子機器地域に新しいサイトを開設しました。2008年には売り上げ、利益ともに効果をあげるものと期待しています。

2007年の4月にはメキシコの「国家品質賞」を受賞しました。フェリップ・カラデオン・メキシコ大統領自らがこの名誉ある賞をジェイビルのグアダラハラ・チームに授与しました。メキシコで「最も優れ

た全社品質管理賞」です。またウクライナにも新しい工場を開設し、ポーランドの工場も大幅に拡張しました。中国やマレーシアの操業もかなり拡大しました。米国内の工場も安定し、そのいくつかは拡張させています。メンフィスの受注・発送業務もかなり拡張しとてもよい成績を上げました。

通期にわたり新規顧客の獲得や新しい分野の開発はとても活発に行われました。2006年度から2007年度の前半まで、コンピューターとストレージ、計測と医療機器、ネットワーク、周辺機器、アフターマーケット・サービスなどの分野で、年度比の売り上げは2桁の成長を達成しました。新規顧客の追加も活発で、ほとんどの競合よりもマーケット・シェアを向上させました。ジェイビルは現在、世界で第3位のEMSプロバイダーです。たった2年前の6位からの躍進です。新規顧客の獲得やマーケット・シェアの向上により、利益率も改善され、将来にわたり投資効果が現れるでしょう。

われわれの提供するサービスも拡張し、また複雑になっています。製品開発力のおかげでコンピューターやストレージ分野では利益性のある拡大が出来ました。受注・発送業務サービスはネットワークや計測機器・医療機器分野で大きく躍進しました。ジェイビルは包括的で、統合されたサービスを提供するという点で、リーダーと目されており、これからも長年にわたり、その分野に投資して行くつもりです。

1年ほど前のことですが、ジェイビルは間違っ、ストックオプションのバックデートをした会社のひとつである、という烙印を押されてしまいました。その結果、いろんな方面からわが社のストックオプションのやり方について精査されることになり、われわれ自身も見直しを開始しました。すでにご承知のように、役員会の中に編成された特別委員会の結論はそのような疑惑はない、というものでした。特別委員会のレビューあるいはわれわれ自身の見直しの結果、いくつか、ストックオプションの付与のやり方に誤りがあったことが判明しました。そこで影響のあった期間について財務報告の修正を行いました。詳細は様式-10Kに書かれているとおりです。この問題を早く終わらせ、ビジネスの成長や株主価値の向上をすることに集中できるように努力しています。

われわれは変化する環境に対応するため必要なコースの修正を常に行っていますし、市場の機会を常に捉えるべく努力しています。このような厳しい時期にも、社員の皆さんはジェイビルに対し、確固たる決意とコミットメントを示してくださいました。これには会社のリーダーたちも感激しましたし、社員の皆さんのこのようなコミットメントが報われるように、監督責任と会社の方向を導いてゆかねばならないと思っています。

現在、1年前に意図したような状況になっていないのは事実です。しかしながら、お客様は確保できていますし、実行面においても基本的には良い状態にあります。多角化も進んでおりますし、世界規模で、電子機器の仮想サプライ・チェーンの達成を成し遂げたと思います。重要な分野で、垂直統合の体制も出来ましたし、そのような垂直統合を生かした新規ビジネスを獲得でき始めているのです。わが社には業界の中でも最高の人材がいます。将来はこの業界はさらに成長し、またいくつかのグローバル企業に淘汰されるでしょう。しかし、われわれの将来は、非常に明るいものと、楽しみにしています。



Timothy L. Main
President and
Chief Executive Officer



William D. Morean
Chairman

FINANCIAL HIGHLIGHTS

Summary Statement of Income For the Year Ended August 31, (in thousands, except per share data)	1996	1997	1998
Net Revenue	\$1,050,624	\$1,178,644	\$1,484,245
Operating Income (GAAP)	\$ 52,457	\$ 88,628	\$ 86,434
Amortization of intangibles	—	—	—
Acquisition-related charges	—	—	20,825
Restructuring and impairment charges	—	—	—
Goodwill write-off	—	—	3,578
Stock-based compensation	63	123	245
Core Operating Income (Non-GAAP)	\$ 52,520	\$ 88,751	\$ 111,082
Operating Income (GAAP) year over year % change	114.6%	69.0%	-2.5%
Core operating income (Non-GAAP) year over year % change	114.9%	69.0%	25.2%
Net Income (GAAP)	\$ 30,340	\$ 59,229	\$ 57,310
Amortization of intangibles, net of tax	—	—	—
Acquisition-related charges, net of tax	—	—	12,902
Write-off of deferred tax assets, net of tax	—	—	—
Restructuring and impairment charges, net of tax	—	—	—
Goodwill write-off, net of tax	—	—	3,301
Stock-based compensation, net of tax	44	84	159
Other (income)/loss, net of tax	—	—	—
Core Earnings (Non-GAAP)	\$ 30,384	\$ 59,313	\$ 73,672
Earnings Per Share: (GAAP)***			
Basic	\$ 0.21	\$ 0.38	\$ 0.36
Basic earnings per share year over year % change	103.1%	86.0%	-5.3%
Diluted	\$ 0.20	\$ 0.36	\$ 0.35
Diluted earnings per share year over year % change	104.7%	85.3%	-3.9%
Core Earnings Per Share: (Non-GAAP)***			
Basic	\$ 0.21	\$ 0.38	\$ 0.46
Basic earnings per share year over year % change	103.4%	85.9%	21.5%
Diluted	\$ 0.20	\$ 0.36	\$ 0.45
Diluted earnings per share year over year % change	105%	85.3%	23.4%
Common Shares Used in the Calculation of Earnings Per Share:***			
Basic	147,815	155,181	158,589
Diluted	155,558	163,890	164,934
Summary Balance Sheet Data			
<i>(in thousands)</i>			
Total Assets	\$ 370,025	\$ 484,133	\$ 625,173
Capitalization*	\$ 225,725	\$ 279,643	\$ 397,078
Stockholders' Equity	\$ 152,884	\$ 216,930	\$ 285,194
Key Ratios			
GAAP Return on Invested Capital	22.2%	33.0%	20.7%
Core Return on Invested Capital ****	22.2%	33.1%	26.2%
GAAP Return on Equity	25.8%	32.0%	22.8%
Core Return on Equity**	25.8%	32.1%	29.3%
Inventory Turns	9.7	10.9	10.3
Sales Cycle	39.7	29.5	30.0

*Capitalization is calculated as stockholders' equity plus total debt.

**The calculation of core return on equity is based on core earnings as reconciled above.

***Reflects 2-for-1 stock splits in 7/97, 2/99 and 3/00.

****The calculation of core return on invested capital is based on core earnings as reconciled above.

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
	\$2,238,391	\$3,558,321	\$4,324,655	\$3,545,466	\$4,729,482	\$6,252,897	\$7,524,386	\$10,265,447
	\$ 134,690	\$ 209,163	\$ 155,308	\$ 53,407	\$ 28,303	\$ 221,771	\$ 251,967	241,807
	1,225	2,724	5,820	15,113	36,870	43,709	39,762	24,323
	7,030	5,153	6,558	7,576	15,266	1,339	—	—
	—	—	27,366	52,143	85,308	—	—	81,585
	3,578	—	—	—	—	—	—	—
	1,187	3,753	2,454	643	16,150	(5,756)	35,403	43,848
	\$ 147,710	\$ 220,793	\$ 197,506	\$ 128,882	\$ 181,897	\$ 261,063	\$ 327,132	\$ 391,563
	55.8%	55.3%	-25.7%	-65.6%	-47.0%	683.6%	13.6%	-4.0%
	33.0%	49.5%	-10.5%	-34.7%	41.1%	43.5%	25.3%	19.7%
	\$ 84,072	\$ 143,297	\$ 112,332	\$ 38,731	\$ 28,570	\$ 173,730	\$ 203,875	\$ 164,518
	809	1,866	4,284	12,593	30,848	37,239	33,698	20,281
	6,519	4,653	4,163	4,748	9,827	987	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	37,103
	—	—	21,588	40,167	60,688	—	—	70,062
	3,305	—	—	—	—	—	—	—
	747	2,351	2,195	(26)	14,437	(6,830)	27,973	32,390
	—	—	—	—	(1,622)	3,975	—	—
	\$ 95,452	\$ 152,167	\$ 144,562	\$ 96,213	\$ 142,748	\$ 209,101	\$ 265,546	\$ 324,354
	\$ 0.50	\$ 0.80	\$ 0.59	\$ 0.20	\$ 0.14	\$ 0.87	\$ 1.01	\$ 0.79
	39.5%	58.8%	-26.9%	-66.5%	-26.6%	502.2%	16.2%	-21.2%
	\$ 0.48	\$ 0.76	\$ 0.56	\$ 0.19	\$ 0.14	\$ 0.85	\$ 0.98	\$ 0.77
	38.8%	58.5%	-27.3%	-65.2%	-26.7%	496.6%	16.1%	-21.1%
	\$ 0.57	\$ 0.85	\$ 0.75	\$ 0.49	\$ 0.72	\$ 1.04	\$ 1.31	\$ 1.56
	23.2%	48.5%	-11.4%	-35.3%	47.5%	45.1%	25.7%	19.3%
	\$ 0.55	\$ 0.81	\$ 0.71	\$ 0.48	\$ 0.71	\$ 1.02	\$ 1.28	\$ 1.53
	22.6%	48.3%	-11.9%	-32.9%	47.5%	43.7%	25.7%	19.4%
	166,754	179,032	191,862	197,396	198,495	200,430	202,501	207,413
	174,334	187,448	202,223	200,535	201,671	205,559	207,706	212,540
	\$1,035,421	\$2,015,915	\$2,357,578	\$2,547,906	\$3,244,745	\$3,334,039	\$4,087,986	\$ 5,411,730
	\$ 644,124	\$1,305,353	\$1,782,132	\$1,873,010	\$2,236,924	\$2,133,629	\$2,473,195	\$ 2,687,814
	\$ 578,301	\$1,272,020	\$1,412,132	\$1,509,650	\$1,592,669	\$1,824,023	\$2,145,941	\$ 2,294,481
	20.0%	19.6%	9.7%	3.4%	2.3%	12.6%	13.6%	10.2%
	22.6%	20.8%	12.5%	7.9%	11.1%	14.5%	17.2%	18.5%
	19.5%	15.5%	8.4%	2.7%	1.8%	10.2%	10.3%	7.4%
	22.1%	16.4%	10.8%	6.6%	9.2%	12.2%	13.4%	14.6%
	11.1	9.2	8.7	7.7	9.5	9.8	9.3	8.4
	25.3	28.9	40.8	50.4	36.4	29.4	20.8	14.9

Financial results for Fiscal Years 2002 through 2005 were restated in the company's recent Annual Report on Form 10-K for the fiscal year ended August 31, 2006 that was filed with the Securities and Exchange Commission on May 15, 2007. Such restatements arose out of the Company's review of certain of its historical stock option grant and revenue recognition practices. Such restated financial results are reflected in the above table. In addition, the financial results for Fiscal Years 1996 through 2001 in this table have also been restated to reflect the results of such reviews.

BOARD OF DIRECTORS



William D. Morean
Chairman
Jabil Circuit, Inc.
Elected Director in 1978
Age 51



Mel S. Lavitt
Vice Chairman and
Managing Director
C.E. Unterberg Towbin
Elected Director in 1991
Age 69



Frank A. Newman
Chairman and Chief Executive Officer
Medical Nutrition USA, Inc.
Elected Director in 1998
Age 58



Thomas A. Sansone
Vice Chairman
Jabil Circuit, Inc.
Elected Director in 1983
Age 57



Laurence S. Grafstein
Managing Director and co-head of
Technology, Media and
Telecommunications
Lazard Frères & Co. LLC
Elected Director in 2002
Age 46



Steven A. Raymund
Chairman of the Board
Tech Data Corporation
Elected Director in 1996
Age 51



Timothy L. Main
President and Chief Executive Officer
Jabil Circuit, Inc.
Elected Director in 1999
Age 49



Lawrence J. Murphy
Private Business Consultant
Elected Director in 1989
Age 64



Kathleen A. Walters
Executive Vice President
Global Consumer Products
Georgia-Pacific Corporation
Elected Director in 2005
Age 55

Jabil Circuit, Inc. Board of Directors Committees

There are three committees of Jabil's Board of Directors: Audit, Compensation and Nominating & Corporate Governance.

Audit: Raymund*, Lavitt, Newman

Compensation: Newman*, Lavitt, Raymund

Nominating & Corporate Governance: Grafstein*, Lavitt, Newman, Raymund

Secondary Stock Option: Morean, Main

*Denotes Chairman

Jabil's Corporate Governance Guidelines, Code of Ethics and the charters of these committees can be found on Jabil's website: jabil.com.

COMPANY OFFICERS

Timothy L. Main
President and
Chief Executive Officer

Wesley B. Edwards
Senior Vice President,
Tools, Systems and Training

Maurice Dunlop
Vice President,
Business Development - Europe

James C. Luginbill
Vice President,
Global Business Unit

Daryn G. Smith
Vice President,
Risk and Assurance

Mark T. Mondello
Chief Operating Officer

Courtney J. Ryan
Senior Vice President,
Global Supply Chain

David S. Emerson
Vice President,
Sales - Americas

Jeffrey J. Lumetta
Vice President,
Business and Technology
Development

Vait Leong Tan
Vice President,
Operations - Asia

Forbes I.J. Alexander
Chief Financial Officer

Scott D. Brown
Senior Vice President,
Jabil Technology Services

Patrick A. Evans
Vice President,
Global Business Units

Roddy A. MacPhee
Vice President,
Business Development - Europe

Sirjang L. Tandon
Chief Executive,
India Business Ventures

Sergio A. Cadavid
Treasurer

Anthony Allan
Vice President,
Global Business Units

Frederick Hartung
Vice President,
Logistics

Michael J. Matthes
Vice President,
Operations - Americas

David T. Wahl
Vice President,
Global Business Unit

Robert L. Paver
General Counsel and
Corporate Secretary

Brian D. Althaver
Vice President,
Automotive Group

Steven Hodge
Regional Controller - Asia

Kevin C. Mazula
Vice President,
Sales - Europe

Beth A. Walters
Vice President,
Communications and
Investor Relations

Joseph A. McGee
Senior Vice President,
Global Business Units

Otto Bik
Regional Controller - Europe

Trevor Kay
Vice President,
Operations - Europe

Donald J. Myers
Vice President,
Corporate Development

Michael F. Ward
Vice President,
Operational Development,
Supply Chain Management and
Information Technology

William E. Peters
Senior Vice President,
Regional President - Americas

Steven D. Borges
Vice President,
Business Development - Americas

George King
Vice President,
Global Business Units

Thomas O' Connor
Vice President,
Human Resources

John Woodburn
Vice President,
Global Business Units

William D. Muir, Jr.
Senior Vice President,
Regional President - Asia

David D. Couch
Vice President,
Tools, Systems and Training

Ralph T. Leimann
Vice President,
Engineering Services

Carey A. Paulus
Vice President,
Global Business Unit

Teck Ping Yuen
Vice President,
Human and Operational
Development - Asia

John P. Lovato
Senior Vice President,
Regional President - Europe

Jace H. Dees
Vice President,
Supply Chain Management
- Americas

Hartmut Liebel
Vice President,
Global Services

John R. Shute
Regional Controller - Americas

企業統治と会計責任

ジェイビルサーキットの株主の皆さんに正確で信頼の置ける情報を提供することは、ジェイビルのマネージメントおよび役員会の重要な責任であると認識しています。倫理的な行動規範に基づくことはジェイビルのマネージメントのビジネス信条であり、ジェイビルの役員は、高い倫理規範を率先垂範しています。ジェイビルの役員会は最新の企業統治慣行にもとづいており、サーベンス・オクスリー法やニューヨーク証券取引所の勧告に従っています。

年度報告書にある、ジェイビルの連結財務報告書は10-Kの様式にもとづいており、米国のGAAPに従って作成されていて、独立した監査法人であるKPMG LLPの報告も含まれています。証券取引法に基づいて開示される情報は、証券法に決められた時間以内に、その書式に従って、記録され、処理され、概要がまとめられますが、ジェイビルはそれを行うための管理規定

と手順にしたがって行なっています。情報は集積されレビューされ、正確にマネージメントに報告されます。これにはCEOやCFO、役員会の中の監査委員会も含まれていて、必要な情報の開示を時宜に決定します。

ジェイビルは包括的な会計システムを開発・導入しており、また内部統制のシステムを構築していて、正確で信頼性のある財務情報を出すことが出来ます。同時にジェイビルのマネージメントは、いかによく出来たシステムといえども、適正な管理は出来るが、100%完全な管理が出来るとは認識していません。ジェイビルには高度な専門知識を持った会計チームがあり、正直で倫理的であれ、というジェイビルの基本理念を理解しています。マネージメントはこのチームが、この基本理念にもとづいて会計処理を実施し、報告するものと確信しています。

株主の情報

年度総会

2007年8月2日 10:00 AM ET
ルネッサンス・ビノイ・ゴルフ・クラブ
サンセット・ボールルーム
600 Snell Isle Boulevard
St. Petersburg, Florida

委任勧誘状によれば総会の席上、役員を選任したり、その他の議題を提出するためには規則にしたがって行う、とあります。また、証券取引委員会の要求事項として、株主の提案を受け取る期日が決められており、その提案を委任状に含めなくてはなりません。

独立した会計監査法人

ジェイビルの役員会はKPMG LLP をジェイビルの2006年8月31日に終了する会計年度の財務報告書の監査法人に専任しました。KPMG LLP (あるいはその前身であった法人) は1984年の8月31日に締め切った会計年度以来、ジェイビルの財務報告を監査しています。KPMG LLPは総会に出席し、適切な質問にはお答えする予定であります。

株式名義書換代理人と株式登録機関

株式名義書換代理人がジェイビルサーキットの株主情報を記録しています。住所変更や株式の移転、証明書の紛失などについては直接ご連絡ください。

Computershare
P.O. Box 43078
Providence, Rhode Island 02940-3078
Phone: 877.498.8865 or 781.575.4593
Website: www.computershare.com

投資家の問い合わせと情報について

投資家情報に関する問い合わせは下記をお願いします。

Investor Relations
Jabil Circuit, Inc.
10560 Dr. Martin Luther King Jr. Street North
St. Petersburg, Florida 33716
Phone: 727.803.3349
E-mail: investor_relations@jabil.com
Website: www.jabil.com

ジェイビル社の、2006年8月31日締め切りの会計年度の年度報告書は、10-K様式に沿って作成され、証券取引委員会に提出され、本年度报告書の中にもその一部として含まれています。ジェイビルの普通株はニューヨーク証券取引所で「JBL」の記号で取引されています。当該期間におけるニューヨーク証券取引所でのJBLの一株当たり価格の高値と安値は下記の表に記載されています。

2005 会計年度	高値	安値	2006 会計年度	高値	安値
First Quarter September - November	\$26.04	\$20.33	First Quarter September - November	\$33.76	\$28.54
Second Quarter December - February	\$27.08	\$21.80	Second Quarter December - February	\$41.29	\$33.26
Third Quarter March - May	\$29.73	\$25.87	Third Quarter March - May	\$43.70	\$33.55
Fourth Quarter June - August	\$32.88	\$28.30	Fourth Quarter June - August	\$36.62	\$22.01

オンライン版の2006年度年度報告書は次のサイトでご覧になれます
<http://www.jabil.com/2006annualreport/>

AMERICAS

Brazil Belo Horizonte • Manaus • São Paulo

Mexico Chihuahua • Guadalajara • Reynosa

United States Auburn Hills, Michigan • Billerica, Massachusetts • Louisville, Kentucky

McAllen, Texas • Memphis, Tennessee • Poughkeepsie, New York • Poway, California

Round Rock, Texas • San Jose, California • St. Petersburg, Florida • Tempe, Arizona

ASIA

China Beijing • Guangzhou • Hong Kong • Nanjing • Shanghai • Shenzhen • Suzhou • Tianjin • Wuxi • Yantai

India Chennai • Mumbai • Pune • Ranjangaon

Japan Gotemba • Tokyo

Malaysia Penang

Singapore Singapore City

Taiwan Hsinchu • Taichung • Taipei

Vietnam Ho Chi Minh City

EUROPE

Austria Vienna

Belgium Hasselt

England Coventry

France Brest • Gallargues • Meung-sur-Loire

Germany Jena

Hungary Szombathely • Tiszaujvaros

Italy Bergamo • Caserta

The Netherlands Amsterdam • Eindhoven

Poland Bydgoszcz • Kwidzyn

Scotland Ayr • Livingston

Ukraine Uzhgorod



JABIL

10560 DR. MARTIN LUTHER KING JR. STREET NORTH
ST. PETERSBURG, FLORIDA 33716 USA

 JABIL.COM

002CS-14760